

平成28年度 施策評価表

課・グループ名

産業振興課農政グループ

作成年月日：平成29年10月13日

施策名	②経営基盤の強化に向けた担い手の育成 2-1-②		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	2. 地域ぐるみで支え育てる活力ある産業経済のまちづくり	(1) 地場の交流を通じた顔の見える農業・農村環境づくり	②経営基盤の強化に向けた担い手の育成
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的かつ安定的な農業経営体を育成するため、関係機関と連携し、経営基盤強化に向けた有利な制度資金等の効果的な活用を推進します。 ●意欲ある担い手に円滑な農地の利用集積を図るため、関係機関における農地に関する情報や集積に関する事業を活用し、農地の流動化及び利用調整を図ります。 ●農業後継者による各種団体活動や、農家子弟などの新規就農者からの相談受付や積極的かつ迅速な情報提供を行います。 ●女性農業者の社会参画等の促進に向けた意識啓発や環境づくりを推進します。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●平成24年度末の認定農業者は150経営体です。また、1戸当りの経営耕地面積は27.8ha（個人21.0ha、法人123.1ha）となっており、規模拡大が進んでいます。 ●担い手の高齢化が進行し、地域農業の活力の低下が進んでいます。労働力不足などに対応していくために、地域の担い手による農作業受委託組織等による共同作業などを行い、効率化を図っていますが、本町の農業を取り巻く情勢は厳しさを増しています。 ●若手女性農業者の農業知識の向上に向けた勉強会などを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●農地の有効活用を図り、労働時間に見合った所得の確保や休日の取得など、一定の労働条件の確保を図る必要があります。 ●次代を担う優れた担い手の育成を図るため、農業後継者となる農家子弟などの新規就農者や女性農業者に対する支援を行う必要があります。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況										
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化			
	担い手の育成を図るには、制度資金における優遇措置などを受けるため、認定農業者として認定されることが経営基盤の強化に繋がるとともに、南幌町人・農地プランへの登載要件についても満たすことから代替指標として設定する。			成果指標（総合計画・施策評価）			○	可能		
								不可能		
				代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定			
				認定農業者数			○	可能		不可能
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。										
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由			
		H25	H26	H27	H28	H28	後継者不在の認定農業者が高齢により離農するため。			
目標		173	173	173	173					
実績	平成26年度より指標変更	168	165	165	165					
達成率		97%	95%	95%	95%					
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点				
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移（目標達成は十分に可能である）				施策の達成度	今後の農業の担い手となる認定農業者の数は減少傾向にあることから、新規就農者や女性農業者の確保に努め、認定農業者へと育成していく必要がある。			
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移（目標達成は可能である）								
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている（目標達成が遅れる可能性がある）				B				
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている（目標達成は難しい）								

